

滋賀県建設産業活性化推進検討会 中間まとめの概要

社会的役割

社会資本整備 OR 維持

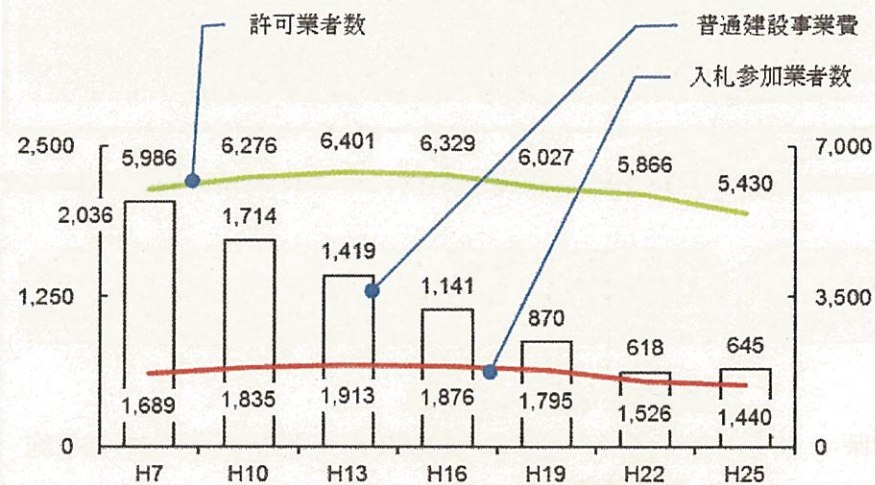
災害に強い県土づくり

地域づくりの担い手

現 状

グラフ 1

H7→H22 普通建設事業費が急減！
普通建設事業費△68.3% 入札参加業者数△14.7%

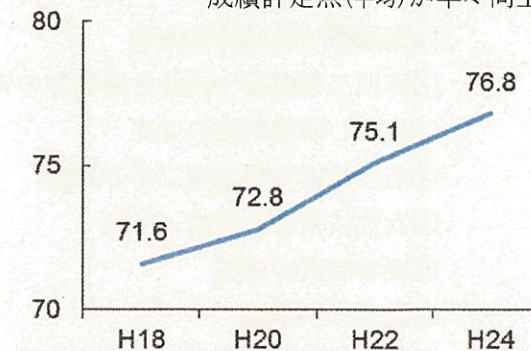


競争が激化！
経営環境悪化

写真：台風 18 号被災地（栗東市がけ崩れ現場）



グラフ 2 県発注工事について
成績評定点(平均)が年々向上



技術力が向上！

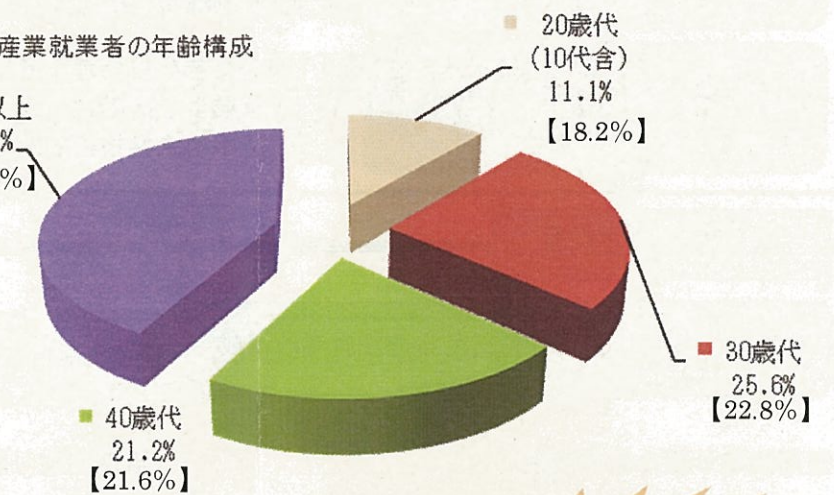
3K? 暗いイメージ
将来への不安等

グラフ 3

建設業就業者年齢構成 (H22)
他産業より若手が不足・高齢化が進行！

※【】は全産業就業者の年齢構成

大形土嚢積み
災害時に活躍！



就労環境の悪化
若手不足と高齢化進行

検討会の活動状況

検討会

- ◇ 平成 25 年 5 月 30 日
建設産業の現状説明等
- ◇ 平成 25 年 7 月 11 日
建設産業の課題等
- ◇ 平成 25 年 10 月 4 日
中間まとめ

ワーキング

- ◇ 平成 25 年 7 月 18 日・8 月 20 日
4 つの検討テーマに沿った討論等
- ◇ 平成 25 年 9 月 2 日
アンケート等調査結果分析等
- ◇ 平成 25 年 9 月 18 日
中間まとめ(案)検討

技術者座談会

- ◇ 平成 25 年 7 月 31 日
✓ 若手技術者座談会
～ 就業動機、建設業の魅力等
- ◇ 平成 25 年 8 月 2 日
✓ 女性技術者座談会
～ 女性技術者の就業の可能性等

現場見学

- ◇ 平成 25 年 8 月 1 日
✓ 土木工事現場
大山川支流補助通常砂防工事
- ✓ 建築工事現場
水口東中学・高校耐震改修工事

アンケート調査

- ◇ 平成 25 年 8 月 1 日～8 月 31 日
調査対象 800 者
回答 426 者(53%)

ヒアリング調査

- ◇ 平成 25 年 8 月 7 日～8 月 22 日
県内専門工事業団体 7 団体
[管、左官、造園、鉄構、電気、塗装、板金]

課題

検討会で実施したアンケートなどの実体調査や若手・女性技術者座談会、現場見学を通じて建設産業の課題の把握に努めました！

建設投資の減少による競争の激化などの厳しい経営環境

・受注工事量の減少、受注単価の低下、競争の激化等
・(経営環境改善等が必要)

女性技術者の育成・確保と働きやすい職場環境の整備

・技術者への女性の進出の遅れ
・女性の労働環境整備の遅れ
・(女性技術者の育成・確保、労働環境の整備が必要)

経営基盤の不安定さ、重層下請構造におけるしわ寄せ

・経営基盤が脆弱な中小企業が主体
・下請主体の事業者は特定の元請業者に依存傾向
・(経営基盤の安定と構造の改善が必要)

情報化の進展等による人材の確保及び育成

・高齢化により技術が伝承されない
・(研修等の人材育成のためのシステムが必要)

建設産業技術者の厳しい労働環境

・休暇が取得しづらい
・仕事内容と給与が不均衡 等
・(労働環境の改善が必要)

将来展望と先行き不安の解消

・厳しい経営環境から先行きを不安視
・社会資本の更新等は継続
・(先行き不安の払しょくが必要)

若手入職者の減少と高齢化が急速に進んでいることによる危惧

・深刻な若手技術者不足
・他産業より高齢化が進行
・(若手や女性技術者等幅広い人材の入職促進が必要)

建設産業の役割の社会的認知度の希薄

・社会貢献活動が認知されていない
・暗いイメージで捉えられている
・(社会的役割や、建設産業の魅力の発信が必要)

取り組みの方向性

4つの検討テーマ

○地域に貢献し、地域を支える建設産業の育成

○技術と経営に優れた企業が伸びられる環境整備

○建設産業の総合的な担い手の育成・確保

○建設産業魅力発信のための戦略的広報のあり方

短期的取り組みの方向性

- ①災害等の緊急対応への取り組みの拡大強化
- ②県内企業・県内材料調達の利用促進
- ③地域社会に貢献できる企業の育成
- ④コンプライアンスの普及・徹底

短期的取り組みの方向性

- ①価格と品質が優れた調達の実現
- ②優れた技術力を有する企業の活用
- ③適正価格による契約の推進
- ④下請契約における透明性の確保

短期的取り組みの方向性

- ①専門工事業者や技能労働者等の育成・確保
- ②幅広い研修制度の充実
- ③若手技術者育成型工事の発注
- ④女性技術者の育成・確保
- ⑤表彰制度の充実
- ⑥発注の平準化
- ⑦建設業関係従事者の処遇の改善
- ⑧県発注工事における提出書類の簡素化
- ⑨建設業の魅力を若者に伝える現場実習等の積極的展開
- ⑩建設産業担い手確保のための連携
- ⑪小・中学生、高校生を対象とした建設産業の魅力発信施策の展開

短期的取り組みの方向性

- ①マスコミや県広報紙を活用した建設産業魅力発信施策の推進
- ②建設工事における「ものづくりの見える化」の発信
- ③県民を対象とした現場見学会の実施

中長期的取り組みの方向性

- ①地域のインフラ資産の維持管理のあり方の検討
- ②地域経済の活性化に向けて

中長期的取り組みの方向性

- ①入札契約事務の改善に向けた取り組み
- ②多様な入札契約方式の検討
- ③技術力の向上による品質の確保

中長期的取り組みの方向性

- ①働きやすい職場環境の整備
- ②建設現場の情報化・省力化
- ③公共工事の将来見通しの公表

中長期的取り組みの方向性

- ①幅広い広報体制の構築
- ②次代を担う子供たちへの建設産業の魅力発信事業の展開

グラフ4 総合評価方式の実施件数と価格にあわせ品質を評価することによる逆転件数・逆転率

